

市長から市民のみなさんへ 104 市長白中博文

平成 21 年の 10 大ニュース

今年選挙の年でしたね。本市では市長選挙(4月)と市議会議員選挙(10月)がありました。衆議院議員総選挙(8月)では与野党が逆転し政権が交代しました。また、地球規模で異常気象が起きています。7月には1時間に90ミリ、3時間に170ミリという記録的な豪雨が降り、本市もあちこちで水の被害が出ました。被災されたみなさんには、改めてお見舞い申し上げます。6月以降、新型インフルエンザが猛威をふるう一方、10月から実施した住宅リフォーム助成事業がヒットし、多くの市民に制度を活用していただきました。3月に土地利用や都市基盤整備のあり方を示す都市計画マスタープランを策定し、現在、このプランに基づき用途地域の指定作業を進めています。

5月、地域の魅力を全国に発信する産業観光バスツアー(右パンフレット:船鉄観光旅行社・宇部市交通局主催)の開始。8月から本市の記事の一部を宇部市の広報紙



に、宇部市の記事の一部を本市の広報紙に載せるという、広域化に向けた情報の交流が宇部市との間で始まりました。また、この12月から市議会での一般質問の様子がインターネットで家庭にも配信されるようになりました。さらに公募により水道事業管理者の後任も決定(11月)しました。

その他、副市長の就任(6月)、合併特例債市民会議の開催(10月)など、まだまだありますが中央政府の動向を含め、文字どおり、激動の時代に生きている実感を深めた1年でもありました。

街路樹の落ち葉について

一市民から手紙が届きました。

「私は、こちらへ引っ越してきて間がないのですが、昨年、自宅近くの街路樹の紅葉を見て、ものすごく感動しました。六十数年生きてきて、こんなに素晴らしい紅葉は、見たことがないと思いました。体が不自由なのですが、何日も通ってながめました。来年は、娘と孫も一緒に見ようねと約束をしていました。今年も、もうそろそろかなと思って見に行ったら、何とバツサリ切られているではありませんか。1年間楽しみに待っていたのに。せめて2,3週間切るのを待つてはもらえなかったのでしょうか。近所の方の落葉の世話等もあるのですが、こんな気持ちでいる市民もいることを、どうしても市長さんにお伝えしたいと思い、筆をとりました。」

担当課の報告。

「昨年は剪定が遅れ、近所の住民から苦情が殺到しました。今年は11月上旬までに剪定するよう地元から依頼があったため、剪定を実施したものです。地元で落葉掃除をお願いしているので、地元の意向を優先せざるを得ません。」

市には、このような要望がよく届きます。市民のみなさんはどのようにお考えでしょうか。ご意見をお聞かせください。



対話の日

【19:00から】

12月24日(木) 大塚自治会館